

2026年2月13日

## 2026年1月度市況

東京洋紙同業会（紙青会作成）

### <印刷用紙 A>

平判は学参系が出始めたもののスポット案件が少なく、昨年を下回る販売量となった。

巻取についてはスポット案件が若干あり、昨年をやや上回る販売量となった。

（前年比 平判 96.1%・巻取 103.1%）

再生紙平判は役所、官公庁関連の定期誌以外のスポットが無く、昨年を大きく下回った。

巻取は広報誌関係の定期案件に加え、若干のスポット案件があり、前年をやや上回ったものの再生紙全体では昨年を下回った。

（前年比 平判 80.7%・巻取 102.3% 再生上質計 91.9%）

巻取が昨年比で数字を伸ばすも、印刷用紙 A 全体としては昨年を下回る結果となった。また平判、巻取共に在庫量が対前月比で増えている。

（印刷用紙 A 全体前年比 97.2%）

### <A2 コート>

平判は、飲食店、デリバリー関連やディスカウントストア、家電量販店、生損保関連のチラシで動きはあったものの、目立ったスポットも無く、グロス、マット共に前年を下回った。

巻取は、カタログやイベント関連印刷物等のスポット案件の動きがあった。巻取全体としては、昨年の大幅な落ち込みもあり、マットは前年を大幅に上回ったが、グロスは前年を下回った。

（前年比 平判 97.1% 巻取 120.0% 全体 100.9%）

### <A3 コート>

ドラッグストアやホームセンター、デリバリー関連等の定期的チラシ案件や、展示会・イベント関連のスポット案件で一部動きがみられたが、全体的には動きが悪く、巻平共に前年を下回った。

（前年比 平判 91.3% 巻取 96.2% 全体 94.2%）

### <ノーカーボン紙>

平判は生損保系の動きはあるものの、前月の反動で大幅に落とした。

巻取は民間案件に関しては低調だが自治体案件や共済系案件の動きがあり、前年を上回った。

（前年比 平判 86.8% 巻取 104.1%）

#### <上質フォーム>

自治体の税金納付書案件の動きが出てきたことに加え、スポットで衆議院の選挙案件も動いたこともあり、前年を上回った。

(前年比 102.1%)

#### <包装用紙>

衆議院選挙があったものの史上最短の実施だった為、従来封書を使用していた自治体も納期の兼ね合いで仕様の変更をせざるを得ず、封筒需要の底上げには至らなかった。

軽包装は例月並みの数字ではあるが、極端に不調であった昨年の数字は大きく上回った。

純白ロールはギフト向けの包装紙で一部動きが見られ、前年を上回った。

包装紙全体では 98.8%と前年を下回った。

(前年比 98.8%)

#### <板紙>

コートボールは物価高を起因とする消費者の買い控えで、日用品や食品関係の低調が続いているが、一連の価格修正を背景に、一部前倒しが見られ、前年を上回る結果となった。

特板においては化粧品関連が全体的に好調。

高板はエンタメ関連の動きが見られ、前年を上回る。

チップボールにおいては、資材関係、貼り箱、出版向け各分野で低調。

全体としては前年数量が低調であった反動と、エンタメ関連のスポットが押し上げ、前年を上回る結果となった。

(前年比 112.8%)